

# 今年も「本のリサイクルフェア」は大盛況!

8月4日(金)から27日(日)まで、県立図書館では「本のリサイクルフェア」を開催しました。

この催しは、ご家庭で読み終わった本を県立図書館に提供いただき、本を必要とする県内の公共図書館や学校、県民の皆さんに有効活用してもらおうと、昨年に引き続き行いました。

まず、8月4日(金)から11日(金)まで、県民の皆さんから読み終わった本を県立図書館に持ち込んでいただきました。その数は実に7,407冊、145人の方からご提供いただき、中には、1人で数百冊も持ってきていただいた方もありました。

次に、こうして集まった本に県立図書館で除籍した1,417冊を加えて、8,824冊を県立図書館1階の会場に陳列し、17日(木)から順次、県内の公共図書館や学校、県民の皆さんに持ち帰っていただきました。

最終的に、公共図書館や学校などには、50箇所まで2,806冊、県民の皆さんには、700人に5,447冊の本をお渡しすること

ができました。

県民の皆さんへの受け渡し初日となった25日(金)の朝には、約60人の列ができたほか、あちこちで何時間もかけて本を選ぶ姿に、皆さんの本に対する関心の高さがうかがえました。

また、今回のフェアで引き取られなかった571冊の本については、今後、関係機関などに呼びかけて、有効活用できるように努めたいと考えています。

ご協力いただいた皆さん、大変ありがとうございました。



## 本で見る佐賀

県立図書館で受け入れた図書の中から、佐賀に関する本を探してみましたのでご紹介します。

### 君も一番になれる

江島 良介 / 著  
スキージャーナル / 刊

一瞬の隙で勝敗が決まる剣道。神埼中学校及び三瀬中学校剣道部を全国優勝(男子5回、女子1回)に導いた名物先生が、教師になるまでの人生や指導の軌跡などを綴った本。



### 物語の中のふるさと

読売新聞西部本社 / 編  
海鳥社 / 刊

主人公の幼年時代から青年時代までの成長過程を描いた下村湖人の「次郎物語」、断罪された維新の功臣江藤新平を描いた司馬遼太郎の「歳月」、蒸気車造りにかけた佐野常民を描いた高橋克彦の「火城」など13作品を収録。



### 三島由紀夫と「葉隠」

北影 雄幸 / 著  
彩雲出版 / 刊

三島由紀夫が座右の書とした「葉隠」の真髄に迫った本。敗戦後「葉隠」は禁書扱いされていたが、昭和42年三島が「葉隠入門」を出版したことにより、ようやく復活したなどと記述。

